

小学生ハンド浦添市長杯

ハンドボールの第21回浦添市長杯争奪兼第3回Big1城間店杯争奪兼第45回九州小学生親善大会県予選は19日、男女の決勝が行われ、女子は仲西

仲西頂点延長制す



女子決勝 リーナ浦添(又吉健次撮影) 仲西・前田 延長で仲西の銘河海花がシュートを放つHANNA

が延長戦の末、前田に17-15で勝利して16年ぶり2度目の栄冠を手にした。男子は神森が前田を21-11で破って3年ぶり15度目の頂点に立った。優勝、準優勝チームは九州大会(12月、熊本県)に出場する。

【男子】

- ▽予選リーグI ①神森2勝②牧港1勝1敗③コザ2敗
▽同II ①前田2勝②宮城1勝1敗③FCA2敗
▽同III ①沢岨2勝②内間1勝1敗③那覇東2敗
▽同IV ①コラソン2勝②当山1勝1敗③八重瀬2敗
▽同V ①天久2勝②仲西1勝1敗③浦添2敗
▽同VI ①兼原3勝②名護2勝1敗③浦城1勝2敗④八重山3敗(各組1位と、2位の中で得失点差上位チームが準々決勝進出)

▽決勝トーナメント準々決勝
神森 21-8 宮城
コラソン 20-15 天久
沢岨 20-10 兼原
前田 23-13 仲西

▽準決勝
神森 24-15 コラソン
前田 18-15 沢岨

▽3位決定戦
沢岨 24-20 コラソン

▽決勝
神森 21(12-4)11 前田

【女子】

- ▽予選リーグI ①仲西2勝②名護1勝1敗③八重瀬2敗
▽同II ①当山2勝②兼原1勝1敗③サウス2敗
▽同III ①宮城2勝②沢岨1勝1敗③浦添2敗
▽同IV ①浦城3勝②天久2勝1敗③コザ1勝2敗④コラソン3敗
▽同V ①読谷3勝②前田2勝1敗③サズ1勝2敗④港川3敗(各組1位と、2位の中で得失点差上位チームが準々決勝進出)

▽決勝トーナメント準々決勝
仲西 14-4 天久
浦城 18-13 読谷
前田 13-6 宮城
当山 15-6 沢岨

▽準決勝
仲西 22-15 浦城
前田 10-8 当山

▽3位決定戦
浦城 20-7 当山

▽決勝
仲西 17(5-8)15 前田
(7-4)延長
(1-2)
(4-1)

残り1分連続得点

延長後半の残り1分。得点のたびに歓声とため息の上がる決勝で、15-15から仲西は主将の上間夏帆と與座ひなたが連続得点して粘る前田を振り切った。

相手GK山城瑠梨の堅守に苦しんだ。目線でシュートの位置を読まれ、マンツーマンディフェンスでコースを狭められた。前半を終え5-8とリードを許す展開に泣き出す選手もいた。

「絶対に逆転する」と気合を入れて臨んだ後半は押し気味にプレー。相手得点源をファウル覚悟で止め、残り2分

で上間がゴールを決め延長戦に持ち込んだ。

延長後半4分、上間は右サイドから左側に展開する中でボールをもらった。自分から速いサイドへのシュートが得意だが「読まれていたので逆に打った。決まっとうれしかった」と勝ち越し弾。與座は「しっかり守って2点差にしよう」と、得意のゴール右上に決めて突き放した。

「みんなの協力で勝てた。めっちゃうれしい」。汗のにじむ笑顔で上間がほほ笑んだ。

(又吉健次)

神森V 緩急自在の攻め

高速パスで得点量産

夏の全国大会で頂点に立った神森は、速く展開力のあるパス回しから次々と得点。ミスが続いたときは後方へのパスでチームを落ち着かせる緩急自在の攻めで、日本一の実力を見せつけた。

主将の池田俊介が12得点とチームをけん引した。「パスをして役割が終わったのではなく、ボールが回るかもと全員が次の準備をしていたことが勝因」と語る通り、高速パスを次々と回して相手に絞らせない攻めで21-11と圧倒した。

「全国大会で優勝して終わりではない。公式戦無敗が目標」と池田。小学校での残る2大会も全勝に挑む。決勝で2得点した荷川取昂河は「打倒神森で他のチームは向かってくる。はね返して勝ちたい」と意欲を燃やした。



男子決勝 神森・前田 前半8分 神森の池田俊介が8点目のシュートを決める